

世界レベルに刺激、悔しさ

ボルダーW杯初出場の関川さん(光星高)



練習に励む関川愛音さん(20日、八戸市のボルダリングジム「セカンドウォーリー」)

「来年は決勝へ」成長誓う

世界は思っていた以上にレベルが高かった。今季初めてスポーツクライミングワールドカップ(W杯)のボルダー競技に出場した、八戸学院光星高1年の関川愛音さん(15)が20日、八戸市で本紙のインタビューに応じた。国内外のトップクラスの選手と競い合い、交流を通して刺激を受けたといい、「いろいろな経験ができたし、悔しい思いもしたがけれど、それを今後に生かしたい」と決意を新たにされた。

(桑田友人)

ボルダーのW杯シリーズは4月21日の東京八王子市を皮切りに、韓国、米国、チェコ、イタリア、オーストリアの6カ国で開催。関川さんはチェコとオーストリア以外で準決勝進出を果たした。

初めて予選落ちしたチェコは学びが多い大会となった。「それまでは気負うことなく臨んでいたが、チェコは課題の途中で『予選落ちしてしまう』などと考えてしまった」

欧州での3戦は3週間連続の遠征。慣れない環境への不安が大きく、「登れるはずの課題も失敗してしまった」。チェコ大会後には盛岡市のトレーニングオンラインで競技内容を振り返り、「最後まで諦めないことを心がけると決めた」という。結果、次のイタリアは予選を19位で通過し、準決勝でシリーズ最高の11位の成績を残した。最後のオーストリアは予選突破の20位に一つ及ばなかったが、精神面の成長を実感できる後半戦となった。

W杯では日本の他の代表選手と行動を共にした。「『ご飯食

エプソンアトミックス(八戸)とスポンサー契約

金属粉末の製造、販売を手がけるエプソンアトミックス(八戸市)は20日、今季のスポーツクライミングワールドカップ(W杯)のボルダー競技に出場した、八戸学院光星高1年の関川愛音さん(15)とスポンサー契約を締結した。同社が遠征などの活動費の一部を支援する一方、関川さんは同社のロゴなどが入ったユニホームを着用する。契約期間は来年3月末まで。1年ごとに更新を検討する。

同社は地元のプロスポーツ4チームとスポンサー契約を結んでおり、今回が5件目。関川さんの地元企業との契約締結は3件目。

同社で開かれた記者会見で、大塚勇社長は「当社のキャッチコピーの『八戸発 世界へ』に共感していただいた。クライミングを楽しみながら世界で活躍してほしい」と期待を寄せた。



スポンサー契約を締結し、大塚勇社長(右)と握手する関川愛音さん(20日、八戸市)

関川さんは「県外の企業だと急に離れてしまうこともある。地元企業からの支援は安心できて、本当にありがたい」と感謝の言葉を述べた。

(桑田友人)

憧れのヤンヤ・ガンプレット選手(スロベニア)の技を見る機会にも恵まれ、「登りが力強かった」と興奮した様子で語った。19日に帰国した関川さん。「パ」とチースはもう当分食べたくない」と日本食への愛着を見せつつ、「来年もW杯に出られるよう、次のジャパンカップで必ず表彰台に上る」と強調。今回かなわなかった、W杯での決勝進出と世界年間ランキング10位入りを果たするため、さらなる成長を誓った。